

# 岡山県地球温暖化防止行動計画について

～ 温室効果ガスの排出削減に御協力ください～

地球温暖化の進行は、生態系や人類に悪影響を及ぼし、予想される影響の大きさや深刻さから、人類の生存基盤に関わる最も重要な環境問題の一つです。実際に猛暑や集中豪雨など、地球温暖化に多少なりとも関係があると考えられる事象が増加する中、一層の地球温暖化対策が求められる状況となっています。

岡山県では、平成23年10月に新たな行動計画を策定し、本県の特徴を生かした目指すべき方向性や、温室効果ガスの削減目標を定めるとともに、その達成に向けて、産業、業務、家庭、運輸、行政の各部門の皆さんで取り組んでいただきたい具体的な行動内容等を整理いたしました。

温室効果ガスの排出を削減し地球温暖化を防止するためには、県民、事業者、行政の各主体が一体となって、地球温暖化対策に取り組むことが大切であり、地球環境への負荷が少ない日常生活や事業活動への転換に向け、皆様の御理解と御協力をよろしくお願いします。

## 地球温暖化の影響

### 【気温の上昇】

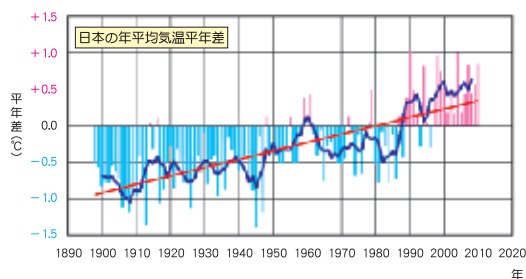
- 世界の平均気温：過去100年間で0.74℃上昇
- 日本の平均気温：過去100年間で1.15℃上昇
- 岡山県の平均気温：約2.1℃上昇  
(1891年～2010年、岡山地方気象台)

### 【熱中症の増加】

- 岡山県の2010年夏期（7～9月）救急搬送人員：1,000人超

### 【農林水産業への影響】

- 高温による米の品質低下、養殖ノリの芽落ち被害など



日本の年平均気温の平年差の経年変化  
※太線は平年差の5年移動平均を示し、直線は平年差の長期的傾向を直線として表示したものである。平年値は1971～2000年の30年平均値  
出典：気象庁「気候変動監視レポート2010」

## 計画期間

2011（平成23）年度から2020（平成32）年度まで

## 温室効果ガス排出量の現況と削減目標

○2008年度の排出量 5,166万トン  
[1990年度比 4.2%増]

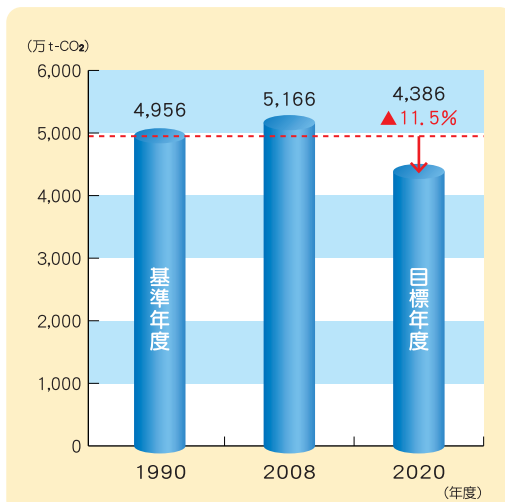
- ・産業部門（エネルギー転換部門含む）  
： 3.2%減（117万トン減）
- ・家庭部門：55.3%増（136万トン増）
- ・業務部門：59.0%増（159万トン増）
- ・運輸部門：26.2%増（107万トン増）

○削減目標 2020年度に  
1990年度比 11.5%削減  
(2008年度比15%削減)

- ・産業部門（エネルギー転換部門含む）  
： ▲12.5%（▲9.7%）
- ・家庭部門：+ 6.8%（▲31.6%）
- ・業務部門：▲ 6.7%（▲41.9%）
- ・運輸部門：▲12.8%（▲30.9%）\*（ ）は2008年度比

※国のエネルギー政策や地球温暖化対策が不透明な中、目標値は「暫定値」。

県内の温室効果ガス排出量と削減目標



## 4つの目指すべき方向性

今回の計画では、全国的な施策のほか、地域自らがその特徴を生かした取組を実践していくため、以下の4つの方向性を県民・事業者の皆様と共有し、施策を展開していきたいと考えています。

### I 低炭素ものづくりモデル県の構築

工業県としての先進的な温室効果ガス削減モデルを追求するとともに、県内企業における低炭素社会貢献製品の製造や利活用、大学等の研究成果発信を推進します。

また、県北の豊かな森林資源のCO<sub>2</sub>吸収・固定機能を十分に発揮させるために、林業の振興による森林管理の充実を図るとともに、県北のCO<sub>2</sub>吸収を県南の産業活動に生かすことができるモデルを構築しながら、工業県でありながら県内の森林資源を活用した「低炭素ものづくりモデル県」を目指します。

### II 「緑の経済成長」推進県への挑戦

地域経済への波及効果や地域雇用の創出の観点にも考慮した政策立案・推進を行うことにより、経済が成長しても環境負荷が減少するモデルの追求に挑戦します。

### III エネルギー地産推進県の追求

県内の豊かな自然エネルギーのポテンシャルを最大限に発掘、活用し、県内各地でのエネルギーの地産拡大を推進します。

### IV 県民総参加体制の構築

環境学習や各種普及啓発活動、地域活動の支援などを積極的に行い、県民、事業者、行政、各種団体が一体となって地球温暖化対策に取り組む社会の構築を目指します。

## 各部門の具体的な温暖化防止行動

### 家庭部門

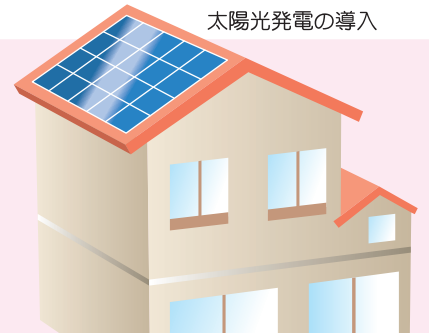
#### すぐに取り組む対策・施策の主なもの

- 省エネルギー型ライフスタイルの定着
  - 冷暖房機器、家電製品（テレビ、冷蔵庫など）、給湯器等の適正使用
  - 省エネナビの導入
  - 環境負荷の少ない商品の使用 など
- 循環型社会に向けたライフスタイルの変革
  - 廃棄物の排出抑制
  - ごみ分別・リサイクルの徹底
  - マイバッグ運動の推進 など
- 緑地の保全・緑化の推進
  - 緑のカーテンの実施 など
- 県や市町村などの取組への積極的参加
  - アースキーパーメンバーシップ会員への登録
  - 環境学習への参加 など



#### 計画的に取り組む対策・施策の主なもの

- 住宅の環境基本性能の向上
  - 新築、既存住宅の省エネルギー基準への適合 など
- 高効率機器の導入
  - 高効率の家電製品や給湯器の導入
- HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）等の導入
- 太陽光発電の導入



### 県民の皆様へ！

- 家庭におけるCO<sub>2</sub>排出量（2008年度）は1990年度に比べ55.3%も増加しており、世帯数の増加や、エアコン、テレビ、冷蔵庫、照明などの機器の増加が理由と考えられます。
- 家庭部門のCO<sub>2</sub>排出量を削減するには、家電製品の適正使用など、個人の意識や行動を省エネ型に変えていくことや、太陽光発電や省エネ機器を計画的に導入していくことなどが大切であり、環境負荷の少ないライフスタイルへの転換に向け、積極的な取組をお願いします。

## すぐに取り組む対策・施策の主なもの

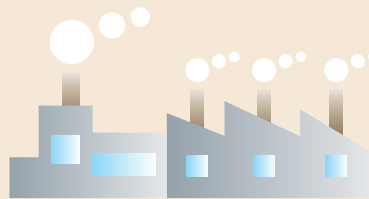
- 省エネルギー型ビジネススタイルの定着
  - 冷暖房機器、照明器具、OA機器等の適正使用
  - クールビズ・ウォームビズの実践
  - 省エネ診断 など
- 循環型社会の形成に向けたビジネススタイルの変革
  - 簡易包装の徹底、循環資源の利活用
  - 製品アセスメントの導入 など
- 緑地の保全・緑化の推進
  - 屋上緑化、建物敷地内の緑化 など
- 環境マネジメント等の推進
  - ISO14001、エコアクション21の認証取得 など
- 県や市町村などの取組への積極的参加
  - アースキーパーメンバーシップ会員への登録
  - 「岡山エコ事業所」の認定取得 など
- 国の排出量削減施策の活用
  - 国内クレジット制度、オフセット・クレジット（J-VER）制度の活用 など



## 計画的に導入を進める対策・施策の主なもの

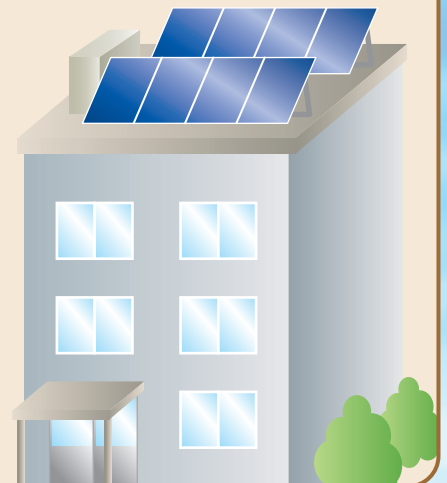
### 【産業部門】

- 設備更新時に最高効率機器を導入
- 高効率・省資源型コンビナートの実現
- 低炭素型製品などの開発・製造
- 低燃費型機械の導入
- 森林によるCO<sub>2</sub>固定化の推進
- 再生可能エネルギーの導入



低炭素型製品などの開発・製造

### 太陽光発電の導入



### 【業務部門】

- 建築物の環境基本性能の向上
- 業務用電気機器等の効率改善
- BEMS（ビルエネルギー管理システム）の導入
- 再生可能エネルギーの導入

## 事業者の皆様へ！

### 【産業部門】

- 本県では、温室効果ガス排出量全体に占める産業部門の割合が約7割と大きく、今後も着実かつ積極的な温暖化対策の取組が必要です。
- 鉄鋼業や石油化学工業などエネルギー多消費型産業においては、既に最先端の設備や機器を導入している企業も多いと思いますが、既存設備の更新時には、最先端の技術や高効率機器を導入することなどにより、エネルギー効率の改善をお願いします。
- エネルギー多消費型産業以外の製造業などにおいても、計画的な高効率機器の導入や再生可能エネルギーの導入などにより、温室効果ガス排出量の削減をお願いします。

### 【業務部門】

- 業務部門のCO<sub>2</sub>排出量（2008年度）は1990年度に比べ59.0%も増加しており、ビジネススタイル等の多様化、営業時間の長時間化などが理由と考えられます。オフィスや店舗等において、省エネ型ビジネススタイルへの転換や定着を図ることが必要です。
- CO<sub>2</sub>排出量の大半を占めている業務用電気機器や照明機器、冷暖房機器や給湯機器の排出削減対策を講じることが急務であり、機器の適正利用や高効率機器、再生可能エネルギーの導入など、積極的な取組をお願いします。

すぐに取り組む対策・施策の主なもの

- 自動車利用の見直し
  - 自動車利用の自粛
  - エコドライブの実践 など
- 運送や運搬に係る見直し
  - 効率的な輸配送システム（共同輸配送システム等）の導入 など
- 県や市町村などの取組への積極的参加
  - アースキーパーメンバーシップ会員への登録
  - 「おかやまエコドライブ宣言」、「ノーマイカーデー」の取組への参画 など

アイドリング  
STOP!!



電気自動車の導入



計画的に取り組む対策・施策の主なもの

- 環境性能に優れた自動車の導入
- 燃料の低炭素化（バイオ燃料）
- 鉄道・船舶・航空の省エネ化

県民・事業者の皆様へ！

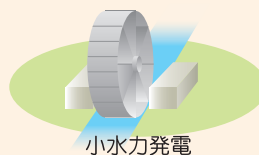
- 運輸部門のCO<sub>2</sub>排出量（2008年度）は1990年度に比べて26.2%も増加しており、家庭等の自動車保有台数や走行量の増加などが理由と考えられます。
- 運輸部門のCO<sub>2</sub>排出量を削減していくには、エコドライブの実践や公共交通機関の利用などに加え、電気自動車などの環境性能に優れた自動車を計画的に導入していくことなどが大切であり、積極的な取組をお願いします。

県及び市町村の事業者としての活動

- 事務事業実施における環境配慮
- 温暖化関連施策の率先実行

温暖化防止対策として進めていく施策の主なもの

- 産業対策
  - 温暖化防止対策に資する産業振興の推進
  - 事業活動の省エネ化・リサイクル化の推進 など
- 家庭・業務対策
  - 太陽光発電・省エネ設備の普及促進
  - エコ&省エネ重視のライフスタイルへの転換 など
- 運輸・交通対策
  - 公共交通機関の利用促進
  - 「ノーマイカーデー」への参画促進
  - 電気自動車の普及促進と基盤整備
- 緑地の保全・緑化の推進
- 各種事業の推進
  - 新エネルギーを活用したスマートタウン構想の推進
  - イベント等のエコ化の推進 など
- 地域環境の整備及び改善
- 再生可能エネルギー導入の推進
  - 「晴れの国」全県丸ごとソーラー発電所構想の推進
  - 小水力発電の普及
  - バイオマスの利活用 など



計画の推進体制・進捗管理

- 「エコパートナーシップおかやま」などと連携し、地球温暖化防止に向けた取組を推進します。
- PDCAサイクルを活用した計画の進捗管理を行います。

行政の取組

～ 計画の詳細については、岡山県ホームページをご覧ください。～

ホームページ <http://www.pref.okayama.jp/page/detail-114365.html>

（編集・発行）岡山県環境文化部環境企画課地球温暖化対策室

〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号 TEL.086-226-7297 FAX.086-231-8094

E-mail ontai@pref.okayama.lg.jp